

# お客様の声

エステティックサロン

陶板浴とエステをコラボさせた栃木県初のサロン

## 差別化できたのはもちろん、 人の役に立てているのを実感します

萩原 萌水様 (栃木県) 「Hagi エステティックサロン」オーナー



当サロンでは美容も体全体の健康も含めトータルでご提案しています。初めて陶板浴に入った方は、指先まで温まって冷めにくいという感覚に非常に驚かれるようで、感動される方も多くいらっしゃいます。最近では、勉強会で知り合ったサロンオーナー様が全国から体験に来てくださり驚いてます。陶板浴はこの業界でもこれからますます関心を持たれると思います。

クリニック

医療施設の治療の一環として導入された初の例

## 陶板浴を入れて一番喜んでいるのは スタッフかもしれません

齋藤 さやか様 (岩手県) 「さやかクリニック」院長



温熱療法として陶板浴を採用し、当院の様々な治療の一環として行っております。普段なかなかリラックスできない患者さんも、陶板浴に入ると「リラックスできた」「寝ちゃった」と言って気持ち良くお帰りになります。そんな風に患者さんに喜んでいただける方法が増えたのはありがたいです。また、スタッフの福利厚生としても使っていますが、それぞれ昼休みなどに積極的に利用して体調管理に役立っています。

カイロプラクティック

日本で最も早く陶板浴を導入したカイロ店

## 独立した弟子からも「陶板浴を併設 したい！」と相談されました

奥山 俊雄様 (山形県) 「健康回復サロン 奥山カイロ」院長



陶板浴を導入したのは10年前です。体を温める大切さは以前から感じていて、何か当院に導入できるものはないかと探していました。色々な温熱療法を見つけては自分で体験する、ということを繰り返している中でたまたま見つけたのが陶板浴です。面白そうだと思い、これも実際に試してみました。自分でも「これだ！」と感じましたし、友人にも体験してもらおうと皆が口を揃えて「良いね！」と言ったので、これは間違いないと思いました。

当院では初めに陶板浴に入ってもらい、その後に施術、最後にまた陶板浴に入ってもらって終了、というコースが多いですね。施術の前に体を温めると非常に楽になります。

今まで来られた方で、初めて来たときは体温が35℃くらいしかなかった方がいます。「週に1~2回来てみてください」とお伝えしたところ、その方は実際に来てくださって、続けていった結果36.5℃くらいまで上がったということがありました。

独立した弟子も、建物を新しくする際は陶板浴を併設したいと言っています。私は元々あった店舗に陶板浴を設置しましたが、これから取り組みたいと考えている方はコンビニ等の空き店舗を利用して始めるのも良いと思います。建物自体はすでにありますし、駐車場もあります。あとは看板を設置したり内装をきれいに直したりすれば十分に利用できるのです。資金面での負担を減らせるのではないのでしょうか。空き店舗は増えているので、選択肢の一つとしては有りだと思います。